

緑小学校・最上小学校・入船小学校

統合協議会ニュース

《第6号》平成29年9月発行



第6回統合協議会を開催しました

8月31日に緑小学校で第6回統合協議会を開催しました。各部会から部会での取組や検討状況の報告がありました。また、山の手小学校をどのような学校にしていくのか、その骨格となるグラウンドデザインを決定しました。

◇ 委員の変更がありました ◇ (敬称略)

(緑小教頭) 加藤 広子 ⇒ 太田 雅則

(最上小教諭) 高橋 幸嗣 ⇒ 塚本 由美

(最上小校長) 若林 晋 ⇒ 宮部 彰子

(入船小教諭) 竹内かすみ ⇒ 石倉 義久

※最上小学校の宮部校長が新たに協議会の副会長に選出されました。(松ヶ枝上部町会会長) 宇関 良治 ⇒ 駒谷 光治

山の手小学校の校歌の完成披露

校名・校歌・校章に関する部会の日下部部会長から山の手小学校の校歌(作詞:朝倉修、作曲:藤嶋美穂(敬称略))完成が報告され、新しい校歌が披露されました。



日下部部会長
(最上小教頭)

PTA組織づくり

山の手小学校のPTA結成に向けて、7月3日に3校のPTA会長、校長、教頭、事務局担当職員で組織する準備委員会が発足し、現在会則案や諸課題について検討を行うなど、来年4月の設立に向け準備を進めています。

通学の安全確保

学校支援部会の嘉山部会長から、山の手小学校への主な通学路について、雪のない2学期と降雪期の3学期に行った通学路の現地確認の状況などを踏まえて、課題の対応策等について検討を行ったこと、緑小学校、最上小学校、入船小学校の各地域での見守り活動について、横断歩道や交差点付近などでの見守り活動が行われていることが報告されました。今後、山の手小学校の通学安全マップについて、事務局で原案を作成後、協議を行い、完成させていくことを確認しました。また、通学時の見守り活動について、学校と地域などとの連携が図られるよう、進め方等を検討していくこととなりました。



嘉山部会長
(入船小教頭)

児童交流

6月7日、8日、19日の3日間、3校の児童が入船小学校に集まり、学年ごとに音読や合唱、体育的レクリエーションなどの交流授業を行いました。



1年生 音読「くちばし」



2年生 ふやしおに



3年生 てつなぎおに



4年生 合唱「はじめの一步」



5年生 音読「あめ玉」



特別支援 ダンス(「キンダーポルカ」)

新しい学校づくりに向けて

学校づくり部会の太田部会長から、山の手小学校の学習規律となる「学習の約束」と「家庭学習のすすめ」や生活の約束となる「校内生活のきまり」と「校外生活のきまり」を作成したこと、3校から山の手小学校へ教育活動を円滑に継続していくため、3校教職員による統合準備委員会を組織し、統合に向けた取組を進めていることが報告されました。また、山の手小学校の学校イメージを踏まえ、学校教育目標や学校の主な教育活動などをまとめた「山の手小学校グランドデザイン(案)」が提案され、協議の結果、了承されました。



太田部会長
(緑小教頭)

山の手小学校 グランドデザイン

■学校づくりのコンセプト■

■目指す学校■

「天狗山のふもと 地域と共に育つ 学びあふれる学校」

■学校教育目標■

3つの『合い』で 未来を拓く 山の手の子

●すすんで 学び合い ●ゆたかに ひびき合い ●たくましく きたえ合い

※「共に育つ学校」という基本方針のもと、「学び合い」「ひびき合い」「きたえ合い」の3つの『合い』を大切に、複雑で予測困難な時代の中で、夢や目標に向かって自分の未来を切り拓く力を育てる



■『共に育つ学校』に向けた学校・地域・家庭の具体的取組■

学びづくり【知】

◆学校の取組◆

- 学力の向上
 - 各教科の基礎・基本の定着
 - 各種調査の実施・結果分析
 - 授業改善 [新学習指導要領に沿った]
 - 国語科を柱とした授業力の向上
 - 校内研修の活性化、研究会の開催
 - 個別指導の充実
 - 算数科による少人数指導の実施
 - ICT機器の有効活用
 - 実物投影機、大型テレビの利用
 - 学習室「山の手ルーム(仮)」の開設
 - 放課後、長期休業中の学習指導
- 学習習慣の確立
 - 学習規律・学習習慣の確立
 - 「家庭学習のすすめ」「学習の約束」の活用、家庭学習の定着(宿題等)
 - 「音読」の習慣化
 - 音読カードの継続した取組
- 特別支援教室の充実
 - 教育的ニーズに沿った指導の充実
 - 個別の指導計画、支援計画の活用
 - ユニバーサルデザイン
 - 関係機関との連携、校内支援委員会の機能向上
 - 全校的な共通した指導

◆家庭の取組◆

- 生活リズムの確立
 - 家庭学習のルール作成
 - 生活リズムチェックシートによる点検
 - 生活環境の整備

◆地域の取組◆

- 学習支援
 - 放課後や長期休業中の学習支援
 - 「樽っこサポート」の活用
 - スキー学習・水泳学習等への支援
 - 地域支援ボランティアの活用

心づくり【徳】

◆学校の取組◆

- 道徳性の育成
 - 道徳の授業づくり
 - 道徳実践力を高める指導
 - 基本的生活習慣の育成
 - あいさつ、マナー等の定着
- 読書活動の推進
 - 朝読書・家読の取組
 - 継続による読書習慣の確立
 - 読書感想文の取組
 - 長期休業中における課題等
- 生徒指導の充実
 - 生活指導の機能を生かす学級経営
 - 自己存在感、自己有用感の育成
 - 規範意識の向上
 - 「生活のきまり」等の明確化
- 人権教育
 - いじめ・不登校等への対応
 - 人権教室(情報モラル等)の開催
 - アンケート等による実態把握
 - 教育相談の充実
- 歌声活動の充実
 - 全校児童による歌声づくり
 - 年間を通じた計画的な指導
 - 歌声集会の開催、学芸会等での発表

◆家庭の取組◆

- 学校・地域行事への積極的参加
 - 親子での共通体験、地域との連携
- 情報モラルの確立
 - 「おたるスマート7」の活用・点検

◆地域の取組◆

- ボランティア活動
 - 図書室の環境整備・読み聞かせ
 - 「おはなし会(仮)」の活用

体づくり【体】

◆学校の取組◆

- 体力・運動能力の向上
 - 体力向上に向けた体育の授業改善
 - 新体力テスト結果の有効活用
 - マラソン大会・天狗山登山の実施
 - 自然環境や公的施設の有効活用
- 健康教育の推進
 - 健康保持・増進への指導の充実
 - 各学年の発達段階に応じた健康教室の開催
- 食育の推進
 - 望ましい食習慣の育成
 - 家庭科等での食育指導の工夫
 - 食育教室の開催
- 安全教育の充実
 - 防災教育の推進
 - 関係機関と連携した避難訓練
 - 安全教育の徹底
 - 登下校の安全指導、連絡体制の確立

◆家庭の取組◆

- 望ましい食・運動習慣の確立
 - 「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
 - 家族で取り組める軽運動の工夫
- 健康管理
 - うがい・手洗いの習慣化
 - 服装等の指導

◆地域の取組◆

- 見守り活動
 - 登下校における安全確認
 - 子ども110番への協力
- 行事への参加
 - 運動会・学芸会・地域公開日等への積極的参加

変化に対応した教育づくり

◆学校の取組◆

- ふるさと教育の推進
 - 6年生における能舞台を活用した能楽体験
- 国際理解教育の推進
 - ALTの活用を図った発達段階に応じた国際理解教育
 - 6年生における小樽商大の留学生との交流
- 環境教育の推進
 - おたる自然の村との連携による源流体験や登山・宿泊研修

信頼に応える学校づくり

◆学校の取組◆

- 地域連携の推進
 - スキー・水泳指導の支援、読み聞かせ等への外部人材活用
- 学校評価の充実
 - 保護者アンケートの複数回実施、学校関係者評価の充実
 - 学校種間の連携・接続の推進
 - 中学校教諭による出前授業、商大との積極的な連携
- 教職員の能力向上
 - 公開研究会の開催、授業力向上に向けた積極的な取組

問合せ先

第7回統合協議会の日程は、決まり次第、市ホームページでお知らせします。

事務局 小樽市教育委員会 適正配置担当 電話 0134-32-4111 (内線 537) FAX 0134-33-6608

メール gakko-tekisei@city.otaru.lg.jp

小樽市 学校再編 で検索